

ふれあいの森「椽平さくらの里」森林整備

令和4年6月11日(土)新発田市貝屋の椽平国有林、椽平桜樹林(天然記念物)に隣接するふれあいの森「椽平さくらの里」において、森林整備活動が行われました。

昭和9年に史跡名勝天然記念物に指定された椽平桜樹林は、昔から桜の名所として地域住民に親しまれてきました。



【椽平桜樹林(一本松展望台より)】

そんな地元のさくらの保全・保護を行っていくということで、平成12年に「加治川さくらの里づくりの会」と当署が協定を結び、毎年、ヤマザクラを保護するための森林整備を実施してきたところです。

当日は、「加治川さくらの里づくりの会」会員をはじめ、新発田市地域緑化推進協議会員の外、多くのボランティアが集まり、当署職員3名も加わり、総勢17名でヤマザクラの幼木の生育環境を改善させるため、令和2年に植栽したサクラ植栽木周辺の下草刈や歩道の整備を行いました。



【R3年度(秋)植栽前】



【R3年度(秋)植栽直後】



【R4年度の様子】



【日当たりのより場所は、成長が旺盛】

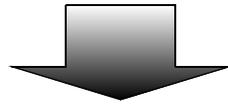


かめに食べられた?!

■ 歩道整備.....



【R1年度から歩道整備は実施していなかった・・・。(歩道があるのかわからい・・・)】



時間が経つにつれ気温も上がりましたが、林内は涼しく、作業を行うにはいい環境で、今年度も怪我なく無事に終えることができました。

